

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング

コード番号 7169 URL <http://www.newton-fc.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山岸 英樹

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 小林 寿之

四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 未定

TEL 03-6233-0352

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	5,909	—	1,162	—	1,191	—	686	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	107.72	—
26年3月期第2四半期	—	—

当社は、平成26年3月期第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年3月期第2四半期の数値及び平成27年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	9,799	7,923	80.9	1,244.03
26年3月期	9,224	7,237	78.5	1,136.30

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 7,923百万円 26年3月期 7,237百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成27年3月期の配当予想につきましては未定であります。

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,006	24.9	2,601	18.3	2,701	20.7	1,566	16.7	245.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	6,369,000 株	26年3月期	6,369,000 株
27年3月期2Q	— 株	26年3月期	— 株
27年3月期2Q	6,369,000 株	26年3月期2Q	6,369,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間（平成26年4月1日～平成26年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済政策や日本銀行による金融緩和政策により、企業収益や雇用情勢の緩やかな回復の兆しが見られました。しかしながら、円安に伴う輸入原材料やエネルギーコストの上昇等が影響し、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社では、派遣先企業の新規開拓、既存派遣先との取引拡充、新入社員の大量採用による営業人員の増加、教育を行うことによる生産性の向上に努めてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高が5,909,232千円、営業利益が1,162,299千円、経常利益が1,191,783千円、四半期純利益が686,083千円となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<代理店事業>

代理店事業におきましては、新規顧客及び既契約顧客に対して電話による保険募集活動を行っております。保険募集時における体制整備の強化等が計画通り完了し、大量採用により増加した営業人員の教育を行うことによる生産性の向上に注力いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の代理店事業の売上高は3,330,472千円、営業利益は1,161,052千円となりました。

<派遣事業>

派遣事業におきましては、派遣先企業へ保険募集活動を行う従業員を派遣しております。前事業年度に引き続き、独自の顧客リストを豊富に保持している企業の新規開拓や、既存派遣先企業との取引拡充に注力いたしました。

その結果、当第2四半期累計期間の派遣事業の売上高は2,578,760千円、営業利益は428,929千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	前事業年度末	当第2四半期会計期間末	増減
	千円	千円	千円
総資産	9,224,874	9,799,572	574,698
負債	1,987,753	1,876,367	△111,385
純資産	7,237,120	7,923,204	686,083

総資産は、現金及び預金の増加等により、前事業年度末に比べて574,698千円増加の9,799,572千円となりました。

負債は、法人税等の支払等により、前事業年度末に比べて111,385千円減少の1,876,367千円となりました。

純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べて686,083千円増加の7,923,204千円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、7,584,042千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益が1,190,990千円となったこと等により、493,534千円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が30,661千円となったこと等により、47,491千円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、株式公開費用の支出が6,000千円となったこと等により、6,459千円の支出となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成26年6月16日に公表しました業績予想から修正を行っておりません。

なお、業績見通し等の将来に関する情報は、現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、これらの業績見通し等に全面的に依拠することはお控えくださるようお願いいたします。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,144,459	7,584,042
売掛金	1,023,767	1,184,756
その他	305,889	284,766
流動資産合計	8,474,116	9,053,565
固定資産		
有形固定資産	288,956	300,570
無形固定資産		
のれん	122,199	95,319
ソフトウェア	14,335	18,201
無形固定資産合計	136,535	113,521
投資その他の資産	325,266	331,914
固定資産合計	750,758	746,006
資産合計	9,224,874	9,799,572
負債の部		
流動負債		
未払金	725,523	892,265
未払法人税等	799,682	508,264
役員賞与引当金	45,000	18,500
賞与引当金	224,184	227,789
解約調整引当金	87,492	107,792
その他	104,061	121,423
流動負債合計	1,985,944	1,876,035
固定負債		
その他	1,809	332
固定負債合計	1,809	332
負債合計	1,987,753	1,876,367
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,237,667	2,237,667
資本剰余金	2,137,341	2,137,341
利益剰余金	2,862,111	3,548,195
株主資本合計	7,237,120	7,923,204
純資産合計	7,237,120	7,923,204
負債純資産合計	9,224,874	9,799,572

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
売上高	5,909,232
売上原価	3,640,489
売上総利益	2,268,743
販売費及び一般管理費	1,106,443
営業利益	1,162,299
営業外収益	
助成金収入	34,352
その他	1,660
営業外収益合計	36,013
営業外費用	
株式公開費用	6,000
その他	529
営業外費用合計	6,529
経常利益	1,191,783
特別損失	
固定資産除売却損	793
特別損失合計	793
税引前四半期純利益	1,190,990
法人税、住民税及び事業税	485,680
法人税等調整額	19,226
法人税等合計	504,907
四半期純利益	686,083

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	1,190,990
減価償却費	46,756
のれん償却額	26,879
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,605
解約調整引当金の増減額 (△は減少)	20,300
固定資産除売却損益 (△は益)	793
売上債権の増減額 (△は増加)	△160,988
未払金の増減額 (△は減少)	147,250
その他	△7,283
小計	1,268,303
法人税等の支払額	△774,769
営業活動によるキャッシュ・フロー	493,534
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△30,661
無形固定資産の取得による支出	△6,258
敷金及び保証金の差入による支出	△15,845
敷金及び保証金の回収による収入	5,273
投資活動によるキャッシュ・フロー	△47,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	
リース債務の返済による支出	△459
株式公開費用の支出	△6,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,459
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	439,583
現金及び現金同等物の期首残高	7,144,459
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,584,042

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	代理店事業	派遣事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,330,472	2,578,760	5,909,232	—	5,909,232
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,330,472	2,578,760	5,909,232	—	5,909,232
セグメント利益	1,161,052	428,929	1,589,982	△427,682	1,162,299

(注) 1. セグメント利益の調整額△427,682千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。